

梅雨の中休みに 6月



今年は梅雨入りが遅く、6月中旬に東海地方は梅雨入りをしました。梅雨と言えば「雨が多い」「湿気が多く蒸し暑い」「洗濯物が乾かない」「梅雨冷で炬燵がほしい」等、気候と同様に気分もどよ～んとしてしまいます。そんな梅雨の最中でも時々夏の日差しが注ぐ日があります。梅雨の中休みです。そういう日に行事が当たると、とても得をした気分になります。

実は6月19日（日）に、北久原花の会の皆さんが北久原区公民館と八幡通り集会所そばの花壇に花を植えました。この日はまさに得をした一日だったんです。私は八幡通り集会所で作業をしましたが、まず、すでに耕された花壇に残ったスギナを引っっこ抜き、次に、富士山の形を意識しながら花を並べてからみんなで植えました。昨日の雨が嘘のように空は晴れ渡り、作業をしていると汗をかきましたが、風が適度に吹いてくれたので爽やかな時間を過ごすことができました。たくさんの花も大勢で植えると早いですね。やはり作業は手数です。

公民館に着くと、公民館の入り口の花はきれいに植えてありましたが、グラウンド東側では雑草を抜きながら芝桜を植える作業に苦戦していました。北久原区公民館では、集会所よりも広い場所を少ない人数でやっていたので大変だったと思います。私たちも早速作業に加わり、今日参加して下さった全員で芝桜を植えることができました。

花はその美しさで私たちを楽しませてくれます。それと同時に花を見ると私たちを優しい気持ちにさせてくれます。北久原区の皆さんや花壇の近くを通った人たちが、目で楽しみ心優しい人が増えてくれることを願っています。そんな環境を作ってくださった北久原花の会の皆さんに、心より感謝いたします。私にとって、本当に得した日でした。



八幡通り集会所そばの花壇です